

製品名: CLDN6 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82530**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	23.3kDa

抗原情報

遺伝子名	CLDN6
別名	CLDN6
遺伝子 ID	9074.0
SwissProt ID	P56747
免疫原	大腸菌で発現したヒト CLDN6 (AA: extra(29-81)および extra(138-160)) の精製された組み換え断片。

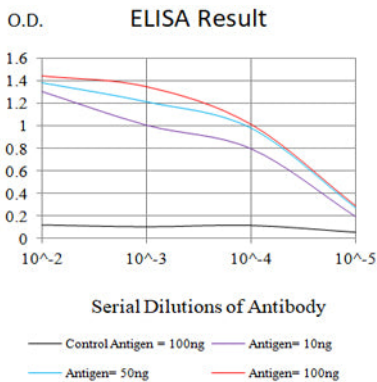
背景

タイトジャンクションは、上皮細胞または内皮細胞シートにおける細胞間接着の一形態であり、細胞の周囲に連続的なシールを形成

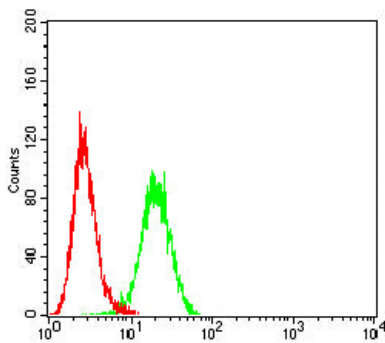
し、溶質や水が細胞間空間を自由に通過するのを防ぐ物理的な障壁として機能します。これらのタイトジャンクションは、外側を向いた細胞質リーフレットに連続したネットワーク鎖の集合体と、内側を向いた細胞質外リーフレットに相補的な溝で構成されています。この遺伝子は、クローディングファミリーに属するタイトジャンクション鎖の構成要素をコードしています。このタンパク質は膜貫通タンパク質であり、C型肝炎ウイルスの侵入補因子の一つです。この遺伝子のメチル化は食道腫瘍の形成に関与している可能性があります。この遺伝子は、16番染色体上で別のファミリーメンバーであるCLDN9に隣接しています。[RefSeq 提供、2010年8月]

研究分野

画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) 紫線: 抗原 (10 ng) 青線: 抗原 (50 ng) 赤線: 抗原 (100 ng)



CLDN6 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Hepg2 細胞のフローサイトメトリー分析。